

青梅のにじ

(発行)

日本基督教団 隠退教職ホーム
にじのいえ信愛荘
運営委員長 成松三千子

〒198-0052 東京都青梅市長淵2-687
電話：0428-22-2283 FAX：0428-22-2317
Eメール：nijinoiesinaiso@wish.ocn.ne.jp

振替口座番号 00120-3-358467

加入者名：にじのいえ信愛荘

信仰の先達を覚える幸い

日本基督教団東京教区総会議長
柿ノ木坂教会牧師

渡邊 義彦



入荘しておられた二人の牧師のことを記してみたいと思います。お一人は、わたしが通った高校の聖書科教師であった近隣教会の牧師です。今お一人は、わたしが通い洗礼を受けることとなった母教会の牧師です。お二人とも今は既に退荘なさり、お一人は息子牧師の近くに住まれ、またお一人は既に召されました。

高校で教えてくださった牧師は、キリストの与え尽くす愛を伝えてくださいました。先生は黒板に英語で「ギブ・アンド・テイク」と記し、わたしたちの日常はこのような愛の交換で成り立っていて、また「テイク・アンド・テイク」奪い尽くす愛も世にはある。しかし「ギブ・アンド・ギブ」与え尽くす愛があることを知っているか、と問われキリストの愛を伝えてくだ

さった。と、わたしは記憶している、到底自分では思い付きやうもない言葉ですから、授業で牧師から教わったと記憶しているのです。しかし、後日、自分も同じ牧師とされて先生と再会し、この話しをしましたら、そんなことを教えましたかね、と仰り拍子抜けしました。しかし、高校生のときに覚えていた唯一のキリスト教的なこととして、しかも信仰の神髄と言える大切なことを、先生から教わったという記憶は、たとえわたしの記憶違いであったとしても、残り続けている大切なことです。

今一人、母教会の牧師です。高校を卒業して十年以上経って、高校生のときの夏休みの宿題で礼拝レポートのため出席した教会に通うようになりました。牧師から、聖書の大切さ、洗礼と聖餐の大切さ、開拓伝道から建て上げられてきた教会の大切さを伝えてもらいました。これらは残念ながら高校生のわたしには気付くことができなかつたことでしたけれども、この時だったのだ、と信じています。高校の教師であった牧師、母教会の教師であった牧師から伝えてもらいたいけれども、わたしの信仰、教会観の基礎、土台となっています。

この「青梅のにじ」を手になさり読んでくださっている方々一人一人にも、そのような信仰者としての基礎を築いてくれた牧師がおられることでしょう。そして、その方が今も入荘しておられるかもしれません。信仰の先達が与えられていることの幸いを思います。

迫害の中で信仰の先達を思い起こすようにと励ましを語る手紙がこのように記します。

「わたしたちは、あなたがたのおのが最後まで希望を持ち続けるために、同じ熱心さを示してもらいたいと思います。あなたがたが怠け者とならず、信仰と忍耐とによって、約束されたものを受け継ぐ人たちを見做う者となってほしいのです。」(ヘブライ人への手紙6章11節・12節)

ご支援をお願いいたします



にじのいえ信愛荘チャプレン
西東京教区白鷺教会牧師 願念 望

主の御名を賛美します。2022年の秋より、チャプレンとして運営委員会に加えていただいた、白鷺教会牧師願念望と申します。どうかよろしくお願ひいたします。いつも、にじのいえ信愛荘をおぼえて、祈りのうちにお支えくださり、心より感謝いたします。

コロナの影響がさまざまなところに出ています。昨年度より献金額が減少しており、また荘員の定員割れにより、昨年度は950万円の基金の取り崩しをせざるを得ませんでした。基金は残り4000万円余りです。から危機的な状況です。設立母体(教会婦人会連合、東京教区)の一つでもある西東京教区(1999年に教区設立)の常置委員会でも現状を報告して対策を協議しています。常置委員会で話したのです

が、西東京教区の礼拝出席者が毎月1回100円ずつ献金してくださると、年間300万円余りになりますので、少しずつの献金がささげられてこれまで支えられてきました。ほんのわずかずつ減少すると、その影響の大きさを感じています。どうか、秋からクリスマスマスに向けて、ご支援を検討してくださるようお願いいたします。

ある教会では、教会員に献金袋を配布して少しずつ集めてくださっています。ご希望の教会には、献金袋を送付しますので、願念あるいはにじのいえ信愛荘に直接ご連絡くださいますようお願いいたします。

各教区總會等において、みなさまに直接お伝えしたいところですが、紙面にて感謝とお願いを申し上げますことをおゆるしてください。

チャプレンとして日頃どのようなことをさせていたいただいているかと申しますと、毎月、誕生日会とスタッフ会に出席しています。いずれも昼食をはさみまずので、休憩時間に荘員の方々のお話を伺うようにしています。基本的には食堂で希望される方と一人一人面談し、必要なときは応接室を利用しています。それぞれに荘での穏やかな生活を感謝され、これまで歩んでこられた尊い伝道牧会生活を話され励まされています。また荘での主日礼拝が、主に説教者の派遣により支えられますように、教区からの派遣等をお手伝いしています。入荘希望者があるときは、入荘面接者の一人となりますが、先日面接があり、うれしい限りです。

5月の運営委員会より、網中彰子総幹事、道家紀一総務幹事に陪席をお願いして、今後も教団での現状の把握と支援の検討をお願いしています。

これからも、ご支援を賜りますようお願いいたします。主にあつて感謝しつつ、主の祝福をお祈りいたします。

自己紹介



原田 和子

私は福島県の田舎町に生まれ、今年で90歳になるうとしています。にじのいえ信愛荘に入荘を許され半年になります。漸く荘での生活にも慣れて、特に朝の礼拝における聖書朗読、ささげる祈りは主との交わりの好機会となり恵みをいただいています。

戦時中、賀川豊彦の山上の垂訓に接し、世相の価値観との違いに驚き興味を持ちつつも手掛かりのないまま時は過ぎ22歳に教団矢吹教会の丹誠牧師に洗礼を授けていただきました。後に農伝保育科にて学び、卒業と同時に原田邦男と結婚、利別教会に赴任、2年後長女が与えられました。教会幼稚園は5名から始まりましたが、10年後には園児が50名に達し、新会堂の建設は後任牧師に委ね、卯之町教会と幼稚園からの招聘に応じました。ところが、在任3年9ヶ月

新運営委員長として



にじのいえ信愛荘運営委員長 成松三千子

今期、思いがけず、「にじのいえ信愛荘」運営委員会委員長の役を主の召しとして重い気持ちでお引き受けして、早々に2つの課題を突き付けられました。荘員の減少と、これとも関連する厳しい財務状況です。

現在この荘には1987年に信愛荘時代建築されたA棟と、合併記念として2010年に新築したB棟があります。定員は25名で、これまでは在荘者はほぼ20名以上を維持していたのですが、コロナ禍の中2021年には17名となり、今年度は遂に13名に減少しました。この減少で財政的に厳しくなり、しかも築後36年のA棟の修繕費が急にかさんできたのです。

更に大きなダメージは、昨年度の全国からの維持献金が約500万円減少したのです。長く続くコロナ禍のため、多くの教

会が財政的な課題を抱えているに違いありません。それにも拘らず、ご支援を強くお願いしなければならぬのは「にじのいえ信愛荘」が、入荘者を牧師と配偶者に限定しているため、行政からの補助金を一切受けることができないからです。

しかし、生涯を主のご用のために尽くされた隠退教職方のためのこの荘は、神の家としてかけがえない存在です。

運営委員会内の募金委員会では、運営を支えるためにこれ迄も毎年チャリティコンサートを開催してきたのですが、コロナ禍のため2020年1月を最後に中止を余儀なくされました。それが漸く来る10月21日(土)に開催の運びとなりました。皆様のご協力を是非お願いします。

もう一つ、委員会はず先ず、ご入荘のご案内を呼びかけます。

現在は社会福祉制度が充実してきましたので、隠退後独居生活が無理となった段階で、入荘を申し込まれる方が多いのですが、この荘は自立型施設のため、食事作り以外の身の回りのことは自分ですることになっていきます。一日も早い入荘をお勧めします。荘費(部屋代と食費)はA棟6万5千円、B棟7万円と低廉に抑え、単身者用、夫婦用の部屋が用意されています。

また、終の棲家ではないことが、残念な点とお思いかもかもしれませんが、ここでの生活が不可能となった場合には、現在では確実に青梅市内の他施設をご紹介していますので、その点はご安心ください。

隠退なさることになり、荘に関心のある方は是非荘にご連絡なりご訪問ください。体験的短期滞在も可能です。

先日、本当に久しぶりに、荘の皆様と昼食をご一緒する機会がありました。コロナ禍の数年间は荘の皆さん、緊張して気を付けてお過ごしでしたが、緩和された今、お元気な笑顔に接し嬉しい限りでした。

で夫は天に召されました。10歳の娘を連れて上京。今や娘も立派に成長し、一男二女の母となりました。

振り返れば、山あり谷ありの人生でしたが、主が共におられ守り導いてくださったのだと思わされます。

聖名を讃美し、全国諸教会・伝道所の方々の祈りに支えられ、平穏な日々を過ごせていることは、感謝の他に言葉がありません。

(2023年1月 入荘)

「主の御言葉を語り続けて隠退された教職方とパートナー方の最後が決して惨めであってはならない」との創設時代の先達方の決意は、実は「信愛荘」も「にじのいえ」も同じ思いだったのです。

そのことを想い出すにつけ、運営委員会をして、必ずや良き方向が指し示されるに違いないと強く思われます。

「にじのいえ信愛荘」のため、皆様の力強いお祈りとご支援を今後も宜しく願います。

(東京・柿ノ木坂教会員)

にじのいえ信愛荘は 13 歳
Since 2010



掲示板



折り紙の会と作品



散策 吹上しょうぶ公園 6月16日(金)



礼拝堂



ホール



2階から玄関を



2階から青梅市を



販売用ショーケース
カードや小物 作品

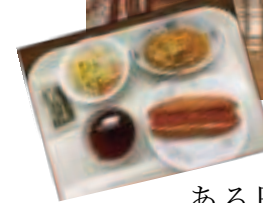


テレビ・ビデオ鑑賞会

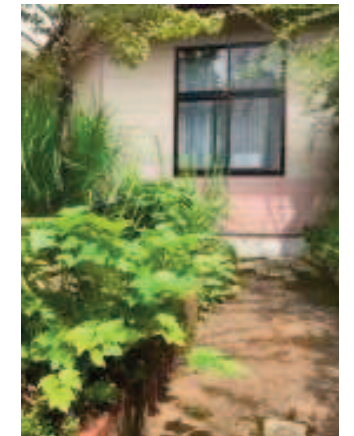
梅っこ体操



食堂



ある日の昼食



中庭



菜園
なすやピーマンを栽培



2023年7月24日

■ スタッフ 自己紹介

一冊の本から



日本ホーリネス教団
青梅恵みキリスト教会
堺 弘子

私が始めて神様に
出会ったのは、1冊

の本の中でした。「アルプスの少女ハイジ」という童話です。孤児で幸福な境遇で育ったわけではないハイジの明るさ・優しさ・純粹さに感動しました。神様の祝福を受け、周囲の人達の心を癒し、神様から離れた人をも信仰を取戻すことが出来、最後は神様を讃美し物語は終わる。

幼い頃より創造主がおられることを信じていた私が、1冊の童話に導かれ「にじのいえ信愛荘」で働かせて頂くまでには、長い物語がありました。遠回りながらも祈りが聞かれたことをうれしく思います。信仰は幼子のような私が、長年神様に仕えておられる牧師様方の側で過ごさせて頂くことは、霊的に成長させて頂けることで喜びです。私の物語は始まったばかりです。

(2023年4月 入職)

■ 新運営委員 自己紹介

主がお入り用なのです



東京・富士見町教会
境 和彦

岡山県の倉敷教会で1994年に受洗し、富士見町教会には1999年に転入会しました。昨年、世俗の大きな役割を終えることが決まり、主に次になすべきことをお示しく下さいと祈り求めていました。

そんな折、にじのいえ信愛荘の運営委員(財務担当)のお話をいただきました。現役の商売人ですので、老人福祉の分野も、教団の組織や運営方法も分からず、お役に立てる自信は全くありません。しかし「主がお入り用なのです」と召し出してくださいだったので、運営委員の先輩方と一緒に、必ずご用を果たせるようにしてくださいと信じています。

隠退教職の先生方、荘のスタッフが安心して暮らし、働けるように力を尽くします。お祈りをお願い致します。

■ 新運営委員 自己紹介

関東・志木教会 佐久間文雄



日本キリスト教団の推薦による委員に選任されました。

何分にも不慣れなため、皆様には大変ご迷惑をお掛け致しますが、宜しくお願いいたします。この施設は教団の所有する財産であり、その責任は全て教団にあると承知しております。運営には苦勞が多いと思いますが、微力ながらより良い運営のため努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。





施設長 大野 裕昭

●2022年7月

6日(水)曾澤とき江師入荘
健康診断①

8日(金)広報委員会懇談会取材

13日(水)防災設備点検 健康診断②

14日(木)スタッフ会

20日(水)井上医院来診

21日(木)浴槽清浄装置点検

25日(月)誕生会・相談会

27日(水)健康診断③

●2022年8月

2日(火)エレベータ点検

3日(水)健康診断④

10日(水)浴槽レジオネラ菌定期検査

11日(木)スタッフ会

17日(水)井上医院来診

19日(金)エレベータ点検

厨房エアコン清掃

25日(木)運営委員会

29日(月)誕生会・相談会

30日(火)新型コロナウイルスワクチン接種

(4回目)

●2022年9月

8日(木)自主避難訓練

14日(水)井上医院来診

15日(木)スタッフ会

16日(金)食堂エアコン清掃

21日(水)食堂床ワックスがけ

26日(月)誕生会・相談会

●2022年10月

12日(水)A棟浴槽清浄装置修理

19日(水)井上医院来診

22日(土)ボイラー点検

25日(火)美術館鑑賞

26日(水)浄化槽清掃

31日(月)誕生会・相談会

●2022年11月

10日(木)スタッフ会

16日(水)井上医院来診

24日(木)運営委員会

28日(月)誕生会・相談会

●2022年12月

2日(金)長山恒夫篤子夫妻退荘

6日(火)新型コロナウイルスワクチン接種

(5回目)

12日(月)相談会

14日(水)スタッフ会

15日(木)井上医院来診

25日(日)クリスマス礼拝

26日(月)クリスマス祝会

●2023年1月

12日(木)スタッフ会

16日(月)原田和子姉入荘

17日(火)井上医院来診

18日(水)ガス給湯器点検(B棟)

30日(月)誕生会・相談会

●2023年2月

2日(木)新旧運営委員長来荘

3日(金)浴槽レジオネラ菌定期検査

9日(木)スタッフ会

10日(金)ドアホン点検

14日(火)エレベータ点検(A棟)

井上医院来診 予算検討会

17日(金)財務委員会

22日(水)職員採用面接 運営委員会

25日(土)漏電検査

27日(月)誕生会・相談会

●2023年3月

6日(月)小泉富子師退荘

9日(木)スタッフ会

16日(木)井上医院来診

内藤美枝職員最終勤務

22日(水)火災避難訓練

23日(木)礼拝堂エアコン清掃

24日(金)食堂席替え(荘員)

27日(月)誕生会・相談会

29日(水)お花見(都立秋留台公園)

●2023年4月

3日(月)堺弘子職員入職

10日(月)春原鈴子師退荘

13日(木)スタッフ会

19日(水)井上医院来診

24日(月)誕生会・相談会

25日(土)高崎ワカ姉退荘

●2023年5月

11日(木)スタッフ会

17日(水)監事監査(荘ホール)

22日(月)青梅幼稚園来訪

24日(水)A・B棟エレベータ点検

25日(木)運営委員会

29日(月)相談会

●2023年6月

7日(水)A棟居室エアコン清掃

8日(木)スタッフ会

13日(火)灯油地下タンク点検

16日(金)吹上しようぶ公園散策

19日(月)新型コロナウイルスワクチン接種

(6回目)

21日(水)入荘希望者面接

22日(木)江原有輝子牧師(青梅教会)小井沼眞樹子師(ブラ

ジル)来荘

26日(月)誕生会・相談会

28日(水)広報委員会取材

●2023年7月

3日(月)エアコン清掃

13日(木)スタッフ会

キスト岡崎宣教師夫妻来荘

20日(水)井上医院来診

31日(月)誕生会・相談会

● 荘の主日礼拝が、2023年4

月から以前の礼拝堂での対面礼

拝に戻り、イースター礼拝を捧げ

られました。荘員の皆さま、職員

共に言葉に表せない感謝と喜び

に満たされました。

新型コロナウイルス感染症が

「5類」となり、感染対策は個人

の判断に委ねりましたが引き続き統

き施設として感染に注意しつつ、

少しずつこれまでの日常と、諸

教会・伝道所の皆さまとの以前

のようなお交わりを取り戻した

いと心から願っております。

今後とも、にじのいえ信愛荘

をお祈りお支えいただきますよ

う、お願い申し上げます。

予告 **チャリティコンサート**

2001年から続けられてきたチャリティコンサートが、コロナ禍のため3年間お休みになっていました。東洋英和女学院、青山学院大学等々を会場に、毎年恒例となっているコンサートです。誰言うともなく、「まるで同窓会ですね」と久々に交わす笑顔の挨拶があちらこちらから。どうぞ今年も、にじのいえ信愛荘のコンサートにお出かけください。

ハンドベルと

パイプオルガン演奏

開催日 2023年10月21日(土)

開演時刻 13時30分

会場 青山学院大学ガウチャー

記念礼拝堂

演奏 青山学院大学ハンドベル・

クワイア 指揮 鷺 晶子氏

パイプオルガン 徳田祐子氏

チケット代金 2000円

主催 にじのいえ信愛荘

運営委員会

共催 青山学院大学

協力 全国教会婦人会連合

お問い合わせ

募金委員会 西村佳子

電話 03(3309)2130

入荘のご案内

緑豊かな青梅の地に教団のセンター「にじのいえ信愛荘」は、13年の歴史を紡いで参りました。み言葉の伝道と牧会に生涯を捧げて来られた隠退教師とそのお連れ合いの皆さまが、祈りの中に静かな日々をお過ごしです。毎朝の礼拝とお食事を共にし、それ以外の時間はそれぞれに散歩、ガーデニング、お部屋での読書等、自由な時間を楽しんでおられます。

コロナ禍が明けるに伴い、従来の教区、支区、教会からの訪問等、交流の良い時間が再開されることでしょうか。また、お花見など青梅の自然を荘員、職員共に楽しむ行事も行ってまいります。

お部屋は単身者用、夫婦用があります。自立型の施設のため、入荘の際、自立基準の判定を受けて頂きますので、ぜひ早い段階でのご連絡、ご相談をお待ちしております。

基準荘費(部屋代・食費)

A棟 一人6万5千円

B棟 一人7万円

右の基準荘費に見合う基準収入を定め、収入に応じて荘費を増減する制度をとっています。

維持献金のお願い

2023年度予算 2,600万円

振替口座 ゆうちょ銀行
00120-3-358467

加入者 にじのいえ信愛荘

お問い合わせは左記
にじのいえ信愛荘まで

お支えください！

日頃からお祈りの内ににじのいえ信愛荘を覚え、お支えいただいていることを感謝しお礼申し上げます。今年度もよろしくお願いいたします。

感謝して、2022年度の献金報告をお届けします。変更等がありましたら荘までお知らせください。

クリスマス献金

ご協力をお願いします



にじのいえ信愛荘(事務局)

電話 0428(22)2283

FAX 0428(22)2317

Eメール

nijinoiesinaiso@wish.ocn.ne.jp

あとしがき

事務局から

入荘案内パンフレットを新しく作成しました。又、振替用紙、維持献金の専用封筒(個人用)なども用意しています。事務局までご請求くだされば必要部数をお送りいたします。

献金報告の中で、ご召天、転居、転会等変更や献金額等に不備な点がございましたら上記までお知らせください。

編集後記

第24号を、全国の教会、関連学校、お支えくださる皆様にお届けできる幸いを心から感謝申しあげます。本号ではにじのいえ信愛荘の日常をより身近に感じていただきたく写真の頁を作成しました。新たに編集委員会委員長として尾野明子が奉仕させていただきます。よろしく願っています。

編集委員会

長・尾野 明子(王子教会)

黒沢 咲子(九段教会)

阪口 和美(水戸教会)

鈴木 功男(目白教会)

成松 三千子(榎ノ木坂教会)

渡邊義彦(榎ノ木坂教会)

印刷 シャローム印刷